



ニュースを教育・研究の視点から発信する OTEMON VIEW

コロナ禍のスポーツ。改めて問われる！ グローバル視点でスポーツをとらえる意義とは？

追手門学院が OTEMON VIEW を開設

学校法人追手門学院(大阪府中央区、理事長：川原俊明)は6月に大学公式HPに特設サイト「OTEMON VIEW(オウテモンビュー)」を開設しました。

<https://newsmedia.otemon.ac.jp/>

OTEMON VIEW とは

「ニュースの面白さは、見方次第。」をコンセプトに、日々移り変わる世の中の出来事を、追手門学院大学の教員らが教育・研究成果など専門的知見に基づいて読み解きます。

サイトは追手門学院オリジナル記事と他メディアに掲載された関連記事の2つで構成。

本学のような文系学部中心の大学としては珍しい取組で改善を重ね充実していきます。



OTEMON VIEW トップページ

ニュースを教育・研究の視点から

野球やサッカーではシーズン終盤を迎え、海外への移籍が活発になる時期でもありますが、新型コロナウイルスの影響でグローバル化が停滞する今、日本人選手が海外チームで活躍する意義があらためて問われています。

今回は、かつてJリーグ名古屋グランパスの強化担当責任者を務め、当時高校生であった本田圭佑選手にいち早く注目した指導者で、現在は関西サッカーリーグに所属するクラブチームで代表兼監督も務める、スポーツ社会学が専門の上田滋夢社会学部教授がグローバル視点でスポーツを捉える価値を解説します。

(以下は主なポイント)

日本人スポーツ選手の海外進出

- 海外進出がもたらす3つの意義
- 海外で活躍するために必要な資質

グローバルで考えるスポーツ界

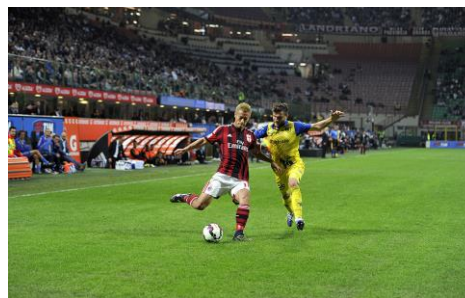
- グローバルでスポーツを捉える価値
- 地域リーグがもたらす包括的な環境

アフターコロナのスポーツのあり方

- コロナ禍でみえた「スポーツが秘める力」
- これからの海外進出の可能性

詳しくは記事本体をぜひご覧ください。

記事本体：<https://newsmedia.otemon.ac.jp/1208/>



海外でプレーをする本田圭佑選手
(2014年、ACミラン時代)

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課 TEL: 072-641-9590 谷ノ内・仲西